

令和元(2019)年度函館市交通事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

令和元年度の乗車人員は、定期外客が前年度に比べ1.4%減の4,702,431人、定期客が前年度に比べ11.3%増の744,397人となり、合計で0.1%増の5,446,828人となった。

事業収益については、運輸収益の減少等により、前年度に比べ29,825,841円の収入減（2.1%減）となり、総額で1,373,774,505円となった。

事業費用については、減価償却費の減少等により、前年度に比べ22,957,470円の支出減（1.6%減）となり、総額で1,404,419,991円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ6,868,371円減少し、30,645,486円の純損失を生じた。

建設改良事業については、深堀町～駒場車庫前間軌道改良工事、魚市場通～市役所前間軌道改良工事、710形電車の車体更新、3000形電車および8000形電車の車体改良等を予定どおり施行した。

また、令和元年10月1日からの消費税率改定に伴う旅客運賃変更認可申請が、令和元年9月5日付けで北海道運輸局長から認可されたため、令和元年10月1日から乗車料金の改定を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための取り組みに伴い、来函観光入込客の減少や不要不急の外出自粛等により、乗車人員が年度末に向け減少し、大きく影響を受けた令和2年3月の乗車人員については、前年度に比べ定期外客が53.8%減、定期客が4.6%減となった。